



### 【学習評価】

校長 佐伯 英徳

新学習指導要領が平成29年に告示され、3年間の移行期間を経て、今年度から全面実施されました。今回の学習指導要領では、学校で学んだことが子どもたちの「生きる力」となって今後の人生につながっていくこと、これからの社会が変化して予測困難な時代になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動していくことを目指し、子どもたちに必要な資質・能力の要素を3つの柱で整理しています。そして「何のために学ぶのか」という学習の意義を共有しながら授業の創意工夫や教科書等の教材の改善を引き出していけるよう、すべての教科で次の3つの柱に基づく子どもたちの学びを後押しすることが求められています。

#### 「資質・能力の三つの柱」

◆ 生きて働く **知識・技能**

⇒何を理解しているか、何ができるか

◆ 未知の状況にも対応できる **思考力・判断力・表現力**

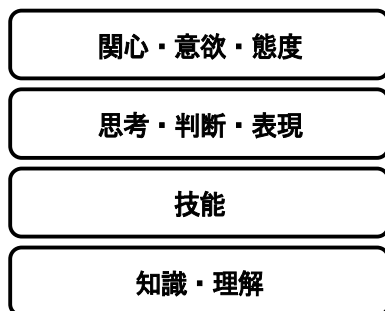
⇒理解していること・できることをどう使うか

◆ 学びを人生や社会に生かそうとする **学びに向かう力・人間性等**

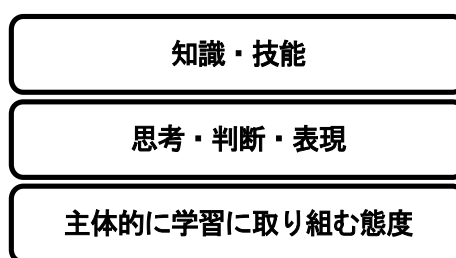
⇒どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか

このことを踏まえて、観点別学習状況の評価の観点、これまでの4つの観点から（国語は5つ）「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点到整理されました。それに伴い通知表の内容も変更になります。

#### ＜昨年度までの評価の観点＞



#### ＜今年度からの評価の観点＞



評価の内容としては、「知識・技能」：個別の知識及び技能の習得状況、既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で概念等として理解したり技能を習得したりしているかを評価、「思考・判断・表現」：知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかを評価、「主体的に学習に取り組む態度」：知識及び技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組み中で、自らの学習を調整しようとしているかどうかを含めて評価します。各教科においては、この3観点をそれぞれA・B・Cの3段階で評価した上で、教科の評定として1～5の5段階評価でお知らせします。「特別の教科 道徳」については文章表記にて学年末にお知らせします。なお、評価方法等の詳細につきましては、7月10日（土）の保護者会で説明する予定ですので、何卒よろしくお願いいたします。

[引用：新学習指導要領の全面実施と学習評価の改善について（文部科学省）]

## セーフティ教室実施

6月4日(金)、コロナ対策上1年生は体育館で、2・3年生は各教室からリモートで、セーフティ教室を行いました。ファミリーeルールの講師として足助佳一氏をお迎えし、「SNS・インターネット利用で起因する被害・トラブルから身を守るための知識を身につける」という目的で講演をしていただきました。内容は、自分でコントロールできること、できないことを理解して、行動の結果を考えること、そして情報機器を正しく扱えるようにしようということでした。現代の情報社会において、匿名で誰もが簡単に自分の思いや考えをネット上に挙げることができるのが、良さでもあり怖さでもあります。生徒各自がこの講演会を通して、少しでも情報リテラシーを持ち、豊かで安心・便利な社会を築いてくれることを願っています。



## 1学期 部活動の大会記録

昨年度はコロナ禍のために多くの大会が中止となりました。これまで3年生にとっては、満足のいく部活動ではなかったと思いますが、強い気持ちをもって大会に挑んでくれました。引き続き保護者の皆様のご理解とご協力をお願い致します。

◎ 女子バレーボール部	第9ブロック夏季選手権大会	対 府中五中	ベスト8
◎ 野球部	第9ブロック選手権大会	対 三鷹一中	2回戦
◎ サッカー部	第9ブロック予選トーナメント	対 法政中	2回戦
◎ 男子バスケットボール部	第9ブロック選手権大会	対 府中一中	1回戦
◎ 女子バスケットボール部	第9ブロック選手権大会	対 武蔵野三中	1回戦

※ 学校だよりHP版には、7月の予定表が掲載しておりません。